



3月1日現在の中山	
世帯数	1,360
人口	3,175
【問い合わせ】 中山公民館報編集委員会 58-5822	

中学生になったら

○稲葉 優太郎

新しい友達をいっぱい作って楽しい中学校生活にしたいです。勉強は、自分が分からない所を無くしたいです。

○塩島 和己

中学生になったら部活と勉強をがんばります。部活の練習も厳しいだろうし、勉強も難しいと思うので、がんばります。

○中島 颯太

勉強して、規則正しい生活をして中学校生活を楽しくしたいです。土日も外に出て、身体を動かせたらいいです。

○廣前 優月

私は友達をたくさんつくりたいです。友達をたくさんつくって、毎日にぎやかに楽しく過ごせるようにしたいです。

○大輪 陽花

勉強と部活をがんばって、たくさん友達を作り、楽しい中学校生活をおくりたいです。

○小林 泰順

勉強と部活をがんばりたいです。勉強では苦手な図形の問題を、部活では卓球部に入り、将来の夢を実現したいです。

○中島 遙

中学生になったら、私の周りの環境は大きく変わります。それでも自分を見失わず、勉強にも励みたいと思います。

○星野 想亜

私が中学生になったら、新しい友達をいっぱい作りたいです。部活では、ちゃんと練習をし、大会でベストを出したいです。

○小澤 華音

私は友達をつくりたいです。たくさん友達をつくらせて、楽しい中学校生活をおくれるようにしたいです。

○清水 奈那

私が中学生になったら、いろいろな教科の勉強をがんばりたいです。宿題も忘れずにできるようにしたいです。



○中島 愛唯

私は、中学生になったら勉強と新しい友達をつくることをがんばりたいです。友達を

つくって、楽しく過ごしたいです。

○洞澤 美希

中学生になったら友達をいっぱい作りたいです。そして、楽しい毎日過ごす中学校生活をおくりたいです。

○川上 結翔

中学生になったら、勉強と部活の両立をしていきたい。いつも自分にプレッシャーをかけながら、勉強したい。

○高田 紗菜

私が中学生になったら友達を作りたいです。自分から話して沢山の友達と仲良くして、楽しく遊びたいと思います。

○早川 明日香

私が中学生になったら、先生とクラスメイトの名前を覚えて親しくなりたいです。毎日学校に行きたいです。

○水上 優翔

ぼくは、スポーツをがんばりたいです。勉強もしっかりやりたいです。

○宮島 渉

中学生になったら勉強をがんばりたいです。なぜかと言うと、ぼくは農家とロボットを作る人になる夢があるからです。

○百瀬 李桜

中学生になったら友達をたくさん作りたいです。そして毎日ちゃんと学校に行って、授業を受け数学を得意にしたいです。

○宮津 明音

私は、家庭科があまりやれていなかったのですが、家庭科を頑張りたいです。部活では、テニスをやってみたいです。

○柳澤 新

中学生になったら英語をがんばりたいです。そして、サッカーで海外遠征に行っても話せるようになりたいです。

○百瀬 樹里

私は、勉強に集中して取り組みたいです。部活動もがんばりたいです。

○百瀬 真人

長文を書くことを心の底から嫌っているので、中学に入ったらそれを普通にできるようにしたい。



中山の店 紹介

オガサワラ林業

今回は、三代にわたり会社を経営、現在、幅広く活躍する「オガサワラ林業有限会社」取材しました。答えてくれたのは副社長小笠原稔起氏。

「今、仕事の中心は送電線近くの木の伐採です。高所での仕事で危険を伴いますが、安全を確保して20メートル、時には30メートルの高い木の上での作業で



すね。それとライフラインと呼ばれるエリアの支障木の伐採もあります。北は小谷、南は南信方面と広い範囲でやらせてもらっています。」

スマホの写真・動画を拝見するとものすごく高い木の上での作業の様子が映っています。

「今、事務も合わせると30人ほど従業員が在籍していますが、現場で作業に当たる者は安全な仕事をこなしていくための研修制度があります。ここで基礎から仕事をおぼえていき、現場での実地経験を積んでいきます。」「今は仕事が楽しくて仕方がないです。危険で体もきついです。自分の思い描いた通りに仕事をやり終えた時の達成感、社会的にも貢献しているという気持ちもあります。」

オガサワラ林業は飯田方面で



ニア新幹線関係にも携わりつつ、ドローン空撮から山の形状の3D解析での技術を活用した新しい分野に力を入れています。「災害にも役に立てる」と社長の小笠原良一氏。

ロマンを感じる林業、そんな会社が目撃できると中山にあることを知り驚きました。



住所：松本市中山4349-7
TEL：0263-87-6377
FAX：0263-87-5235

名所探訪

中山では、集落に通ずるあちこちの辻に道祖神が置かれているのをよく見かけます。

これらはサイノカミ(塞ノ神)とも呼ばれ、集落に災いが侵入するのを防ぐ「境の神」として信仰されてきました。が、更に縁結び、子孫繁栄、村の繁栄の願いが加わり、男女一対の像が作られ道祖神となったようです。

松本地区では男女一対の像が4割、「道祖神」の文字碑が6割で在るそうです。中山でもこの2種類を見ることができま

す。今のコロナ禍、少子高齢化、人口減少といった問題に揺れる社会に身を置くと伝染病や飢饉に苦しみ、道祖神をお祀りして平穏を祈った昔の人々の切実な願いが身近に感じられます。

中山の道祖神

【西越(にしこせ)の道祖神】

考古博物館の前を南にいく

と、西越集落の中ほどの道端に静かにたたずんでいる双体像碑の道祖神がある。素朴で、男女の神がきれいにきざまれ、寄り添って一つの巻物を持つている珍しい図柄で、松本地方では唯一のものといわれる。ここには赤く塗った鉄製の小さい鳥居が立てかけられているが、これは邪悪なものを払うといわれ、石像自体や前掛けなどに見られる。(中山ふるさと写真カルタより)



【尾池(おいけ)の道祖神】

尾池公民館の前の石碑の中に、背の高い大きな双体像の道祖神がある。そもそも道祖神は疫病や悪者が入ってこないように集落の入り口に祀られたというが、道祖神は盗まれ

てしまい、今度は盗まれないように、大きな道祖神を作ったようである。(中山ふるさと写真カルタより)



伏見

我が家の息子が結婚をした。子供の成長は、あつという間だ。

小学生の頃から野球をしてきた息子。毎晩、泥だらけのユニフォームを手洗いた日々を懐かしく思い出す。面倒に感じていた洗濯も、今思えば幸せな時間だった。

子育てを通して、「親」にしてもらった日々感謝しつつ、若い二人のこれからの幸せを母はただただ願うばかりです。

(H・N)